

自動外観検査 FIS-100 適用例 1

# 高速立体検査

(歯車・丸ノコ等)



( 旋 回 )  
もっと速く検査せんかい！

ロボットによる  
前後工程も  
考えた自動化

最高速度で  
一歯一歯を  
漏れなく検査

あらゆる角度  
に対応できる  
汎用性

- ✓ 高速回転機構と高輝度の照明技術の組み合わせで、最速検査を実現します。
- ✓ 対象物の姿勢を任意に変更できるロボットの性能を最大限引き出します。(特許出願済)
- ✓ 対象物によっては目視の10倍以上速く検査することも可能です。



株式会社オービット  
Mail : [info@ovit.co.jp](mailto:info@ovit.co.jp)

075-203-7571

住所：〒612-8429 京都市伏見区竹田西段川原町149-2

# 高速立体検査のベネフィットとは？

FIS-100は**良品検出に特化した画像センサ**ですので、いつもと同じ画像かどうかを検査します。

良品を定義して良品を選別する以上**想定外の不良も流出しません**。常にリスクを伴う「不良を定義して不良品を選別する」検査方法とは180度違います。

このFIS-100を導入した場合のベネフィット(価値)を以下にまとめます。

1つ目には**安心**です。

納入先からのクレームに脅えることはもう無くなります。  
品質保証担当者は、上司から評価されてマネージャーになります。

2つ目には**簡単**です。

これはランニング・コストの低減効果を生みます。  
最初に現場に溢れている良品を登録するだけなので、生産管理担当者はどんな新人でも対応出来ます。  
作業者は運転ボタンを押すだけです。  
現場に笑顔が生まれます。

3つ目には**汎用性**です。

これはイニシャル・コストの低減を生みます。  
製品が明日生産中止になっても、新しい製品を良品登録するだけで新たな1日が始まります。  
余分な設備投資が減るので、予算管理担当者はウハウハです。  
浮いた予算は他に回しましょう。

私たちはこの外観検査の当たり前を更に良いものにしようと日々研鑽しております。  
そして今回これまでの経験上、**最も有効な事例の一つ**を紹介させていただきます。

それがこの**歯車や丸ノコ等の立体物をロボットを使って高速回転させて一歯一歯を検査する方法**です。

実はこのFIS-100はそのアルゴリズム上、検査スピードが圧倒的に**速い**のです。

「高速回転機構」と「高輝度の照明技術」に「高速判定」が加わり、かつワークの供給・排出もロボットが行うため、目視検査員どころか他のメーカーの追随を許さない**最速検査**が実現しました。

**人の10倍速**の検査です。

ボルトが100mを10秒以下で走るとき、1秒以下で走ることと同じ意味です。

10人分の仕事を1人でやるのと同じ意味です。

このベネフィットに気付いて最速で決断したあなたは、最高の結果を手に入れることができるでしょう。